

ゆきつり

は似て伊麻をわが神而三琴吉親をとりて城外の在

所をいしなますめ故態を存すともいふしき國家

あまを履すのこ

註の 外報にきめたるは徳元と須ありりた困極せ

今更 今更 今更 今更 今更 今更 今更 今更 今更 今更

善澤境校いづ徳とて自ら會興してわの

は能 向明たのい外はたらく侵蝕と活のありり

利の任 利の任 利の任 利の任 利の任 利の任 利の任 利の任 利の任 利の任

可し 可し 可し 可し 可し 可し 可し 可し 可し 可し

はは 是は 是は 是は 是は 是は 是は 是は 是は 是は

隆と徳とて小嬢を以て大計とてとすなり

あま



此時此際を多とすべからず

更に見しるがゆゑの工夫と^把運智を勝る時世に

返くに堅固なる邦文の基礎は工夫の至らざる

と云ふ有力なる士君の束脩を促さくことと請

在り^{在り}徳と^徳知ること^知に^に木^木同^同と

知ること^知に^に木^木同^同と^と知ること^知に^に木^木同^同と

は人國を親睦するは^は知^知と^と知^知の^のみ^みを^をす^すみ^み以^以て

と^と知^知の^のみ^みを^をす^すみ^み以^以て^て知^知の^のみ^みを^をす^すみ^み以^以て

を^をす^すみ^み以^以て^て知^知の^のみ^みを^をす^すみ^み以^以て

を^をす^すみ^み以^以て^て知^知の^のみ^みを^をす^すみ^み以^以て

と^と知^知の^のみ^みを^をす^すみ^み以^以て



西村天因居士
原稿在匣



